



崎(横浜国際女学院翠陵高校出身)が2ゴールを挙げて前半を終了した。後半に入ってもなかなか良い形を作ることができなかったが、それでも4点を奪い、6-0で勝利を収めた。これにより、尚美学園大学は、2部リーグで全勝優勝を果たした。

これにより、同リーグ1部への昇格が決定。来年度はいよいよインカレ(全日本大学女子サッカー選手権大会)への挑戦権を賭けた戦



いとなる。1部リーグに所属するチームは、日本代表クラスの選手を抱えるチームも多い。また、インカレにおいてベスト4はもちろん優勝経験のあるチームが顔をそろえる。そんなレベルの高い1部リーグで、尚美学園大学が結果を出すためには、個人はもちろん、チームとしてのレベルアップが必須条件だ。「インカレ制覇」の夢を叶えるために・・・尚美学園大学の熱き挑戦はここから始まる。

(なでしこリーグ所属の日テレ・ベレーザの下部組織)と対戦。開始早々、日テレ・メニーナは個人技を活かした速い攻撃を展開する。それに対し尚美学園大学は体を張った DF をみせるものの押し込まれる時間帯が続き、先制点を許してしまう。しかし、尚美学園大学は焦ることなく、徐々に反撃を試みる。そして、前半終了間際、左サイドからパスを繋ぎ、FW 石渕(横浜国際女

尚美学園大学は、初戦で日テレ・メニーナ

学院翠陵高校出身)が抜け出すと、冷静にゴールへボールを流し込み

同点に。1-1で前半を終える。後半に入っても勢いに乗る尚美学園大学は、FW 石渕が前線からの激しいプレッシャーで相手 DF に競り勝ち追加点を奪う。その後、さらに追加点が欲しいところではあったがチャンスを作ることができず、逆に日テレ・メニーナが徐々にボールをキープし主導権を握り始める。すると後半半ば、一瞬の隙を突かれゴールを許してしまう。なんとかもう一度追加点を奪って突き放したいところではあったが、点を奪い勢いに乗る日テレ・メニーナに対し防戦一方の展開に。そして、引き分けが見えてきた後半終了間際、ゴール前での混戦となり尚美学園大学 DF 陣が何度も体を張ってゴールを死守するも耐え切れず、遂に勝ち越しゴールを許してしまう。尚美学園大学は、わずかに残された時間で反撃に出るもあと一歩及ばず、2-3

で試合終了となった。今年こそはベスト4進出をという想いで臨んだ大会であったが、昨年同様初戦敗退という結果で終えた尚美学園大学。この試合で勝利した日テレ・メニーナはその後も順当に勝ち上がり、決勝戦で早稲田大学に PK 戦の末勝利し優勝を飾った。優勝チーム

相手に互角の戦いができたことは収穫である。しかし、現状に満足していては先に は進めない。この敗戦を糧に、更なる飛躍を期待したい。

> 部昇格を決めることができ、本当に嬉しく思います。私たちを 常日頃から応援し支えてくださっている大学教職員の方々や保 護者の皆様の力がなければ、この結果を残すことはできなかっ

> たでしょう。本当にありがとうございました。しかし、これで

終わりではありません。来年関カレ1部リーグで戦うために、

より一層のレベルアップが必要です。これからも「志あるとこ

ろ道ありき」の部訓のもと、高い志を持ち、道を切り開いてい

きたいと思います。今後とも、女子サッカー部への熱い応援の



6戦4勝2敗

◆第 23 回関東大学女子サッカーリーグ戦 2 部

尚美学園大学 19-0 埼玉大学 〇

10-0 十文字学園女子大学

6-0 茨城大学 〇

◆第31回関東女子サッカー選手権大会

尚美学園大学 2-3 日テレ・メニーナ ×

◆練習試合 (各試合とも試合総本数での得点結果となる)

尚美学園大学 11-1 野津田高校 〇

2-6 浦和レッズレディースユース ×

あるところ道ありき

程、よろしくお願い致します。

女子サッカー部 主務 吉田 **葵**